

川内村 COP恩返しプロジェクト (福島大学)

齋藤 亮太
遠藤 和弥
荒 壮瑠

活動のきっかけ

1年生

地域に滞在し、実践的に学ぶ「むらの大学」で川内村に2週間滞在し、地域の現状や課題について学んだ



2年生

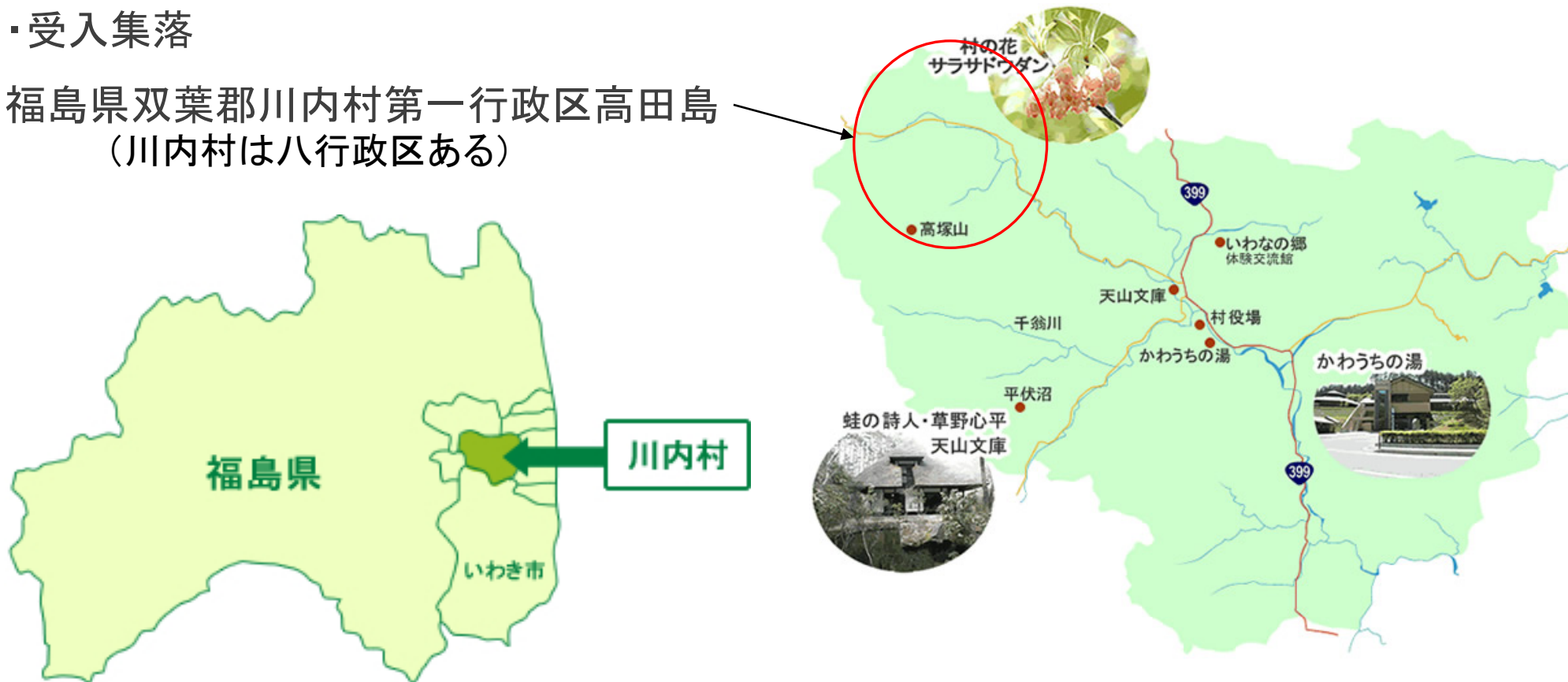
地域課題の解決に向け、自主的に川内村で活動
を始めた。

まずは地域で調査をし、地域の課題を把握した。
その課題に基づき、**実際に企画実施した。**

地域紹介

・受入集落

福島県双葉郡川内村第一行政区高田島
(川内村は八行政区ある)



(出典: [川内村ホームページ](#)より)

川内村の宝～豊かな自然～



川内村の宝～人の温かさ～



川内村の宝～大地の恵み～



(出典:ひとの駅かわうち日記より)

地域の課題把握のための調査

調査結果～ヒアリングやフィールド調査を通して～

- ✓ 伝統行事に対する住民の方の思いは強く、交流の場となっている
- ✓ 村の子どもからお年寄りまで集まることのできる機会があればいいという声が多かった
- ✓ 川内村の食材をふんだんに使った特産品がない



地域の課題

□高田島、村内での世代間交流が少ない

□人口減少、少子高齢化により村の活気が
なくなってきている

□村の魅力が外に発信できていない

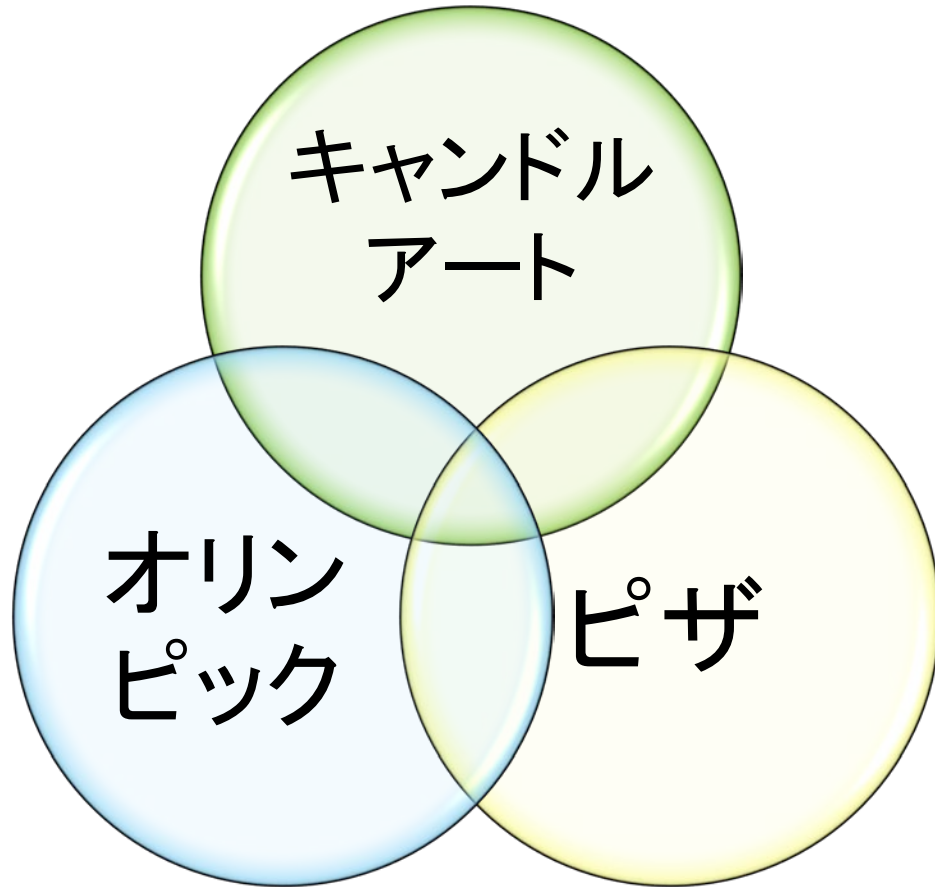
課題解決のために(提案)

→ 多世代が楽しむことができ、健康
増進のためのスポーツ大会を開
催したい！

→ 伝統行事を盛り上げたい！

→ 川内村の特産品を使って、魅力
をアピール！

COP恩返しプロジェクトの紹介



3つのプロジェクトが1つに力を合わせ結成
川内村に恩返しをしたい！



C

竹キャンドルナイトプロジェクト

貴重な交流の場、伝統行事(豊年踊り)を活気づけるため

住民の方々の指導のもと、高田島の竹を伐採し、竹キャンドルをみなさんと協力し作製



豊年踊りにて**復興への道**が高田島の夜を照らした

川内オリンピック

川内村の方々が世代をこえて交流できる場、体を動かす機会をつくるために
川内オリンピックを開催



子どもからお年寄りまでたくさんの方々の交流の懸け橋となった

P

川内ピザ

川内村の特産品、大地の恵みをふんだんに使用した川内ピザを開発。
各イベントに出店することで、川内村の魅力をピザを通して発信！



生地:そば粉 トッピング:いわな、川内村のおいしい野菜

成果

- 私たち福島大学生の取り組みを多くの村民の方々に知ってもらえた
- イベントの実施により村を盛り上げることができた
- 村民の方々にふるさとでのよさ、魅力を再認識してもらえた

今後

- 福島大学生と村民の方々の交流を継続し、さらに深める
- 村外に川内村の宝、魅力を発信し続ける
- 常に活気あふれる村に近づける

ご清聴ありがとうございました

